

北星学園大学 総合情報センター
第 11・12 情報実習室
利用マニュアル



機種： iMac MB324J/A
OS： MacOS 10.5
CPU： IntelCore2Duo(2.66GHz)
メモリ： (第 11 実) 2GB , (第 12 実) 4GB
HDD： 320GB

2009 年 4 月


[目 次]

第 11.12 情報実習室 / Macintosh と周辺機器の基本的な使い方

1. マシンの起動と終了	2
1-1. マシンの起動	2
1-2. ログイン	2
1-3. マシンの終了	3
2. アプリケーションの起動と終了	3
2-1. アプリケーションの起動	3
2-2. アプリケーションの終了	4
3. ファイルの管理	4
3-1. ファイルの保存	4
3-2. ファイルの開き方	5
3-3. ファイルの削除	5
4. 個人領域の使い方	6
5. 教材領域の使い方	6
6. WWW公開領域の使い方	7
7. ローカルディスクの使い方	8
8. 印刷	8
9. 周辺機器の使い方	9
9-1. ポートの説明(左側から)	9
9-2. スキャナ	10
9-3. フロッピーディスク	11
10. 周辺機器の使い方	11

1. マシンの起動と終了

1-1. マシンの起動

本体画面左裏下にある電源ボタン  を押します。



1-2. ログイン

起動が完了したら、右のログイン画面が現れます。

「名前」の欄にユーザ ID、「パスワード」の欄にパスワードを入力し、[return]キーを押すか、マウスで「ログイン」ボタンを押します。

ユーザ ID およびパスワードは Windows と同じです。

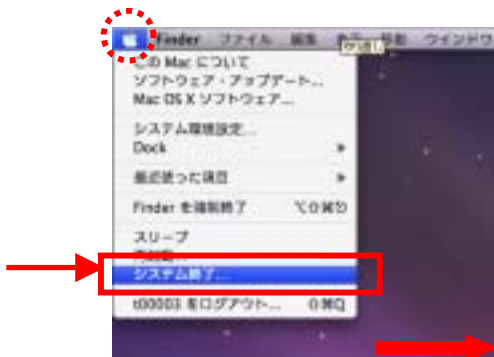


しばらくすると以下のようなデスクトップ画面が表示され、Mac が利用できる状態になります。



1-3. マシンの終了

左上アップルメニューから「システム終了」を選びます。



終了確認のメッセージが出ますので、[システム終了] ボタンを押すと、コンピュータが終了します。（何も操作しなくても1分後に終了します。）



2. アプリケーションの起動と終了

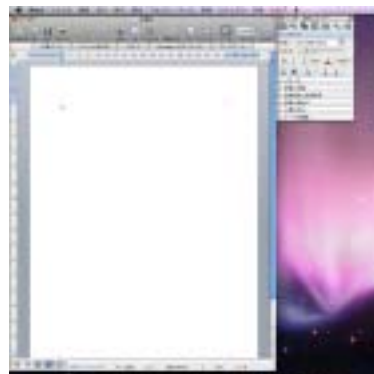
2-1. アプリケーションの起動

画面下の Dock に、アプリケーションのアイコンがあります。
各アイコンをクリックすると、アプリケーションが起動します。



書類フォルダやダウンロードフォルダは、
各ユーザの利用状況により、表示されるアイコンが異なります。

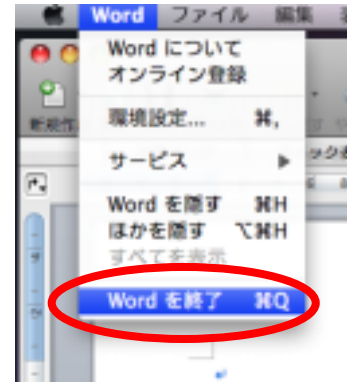
例) Wordのアイコンクリックで
Wordを起動した場合



2-2. アプリケーションの終了

画面左上、アップルマーク右隣のアプリケーション名のメニューをクリックします。

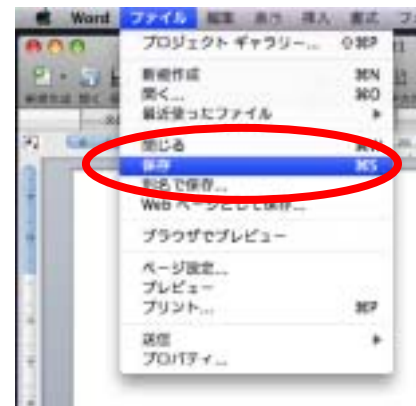
プルダウンメニューの最終行に「Word の終了」(Word はアプリケーション名)という項目がありますので、その行をクリックします。



3. ファイルの管理

3-1 ファイルの保存

「ファイル」メニューから、「保存」・「別名で保存」等を選択します。



保存先を選択するウィンドウが表示されますので、LAN の個人領域 (Sドライブ) や「書類」フォルダの中等に名前をつけて保存して下さい。(書類フォルダに保存したファイルは、保存したコンピュータからのみ利用できます。)

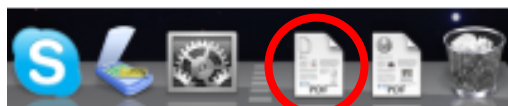


「Office for Mac 2008」は、デフォルトの拡張子が Word の場合は docx、Excel の場合は xlsx となっていますので、ご注意ください。そのまま保存すると第1～10実習室 (Windows マシン) でそのファイルをダブルクリックして起動すると、Office2007 が起動します。

3-2 ファイルの開き方

書類フォルダに保存した場合

- ¶ Dock 中にある「書類フォルダ」をクリックします。（各ユーザの保存状態により、表示されるアイコンが異なります）



書類フォルダの内容が表示されますので、自分が保存したファイルがある事を確認します。

保存したファイルを使用したい場合は、使用したいファイルをクリックしてください。

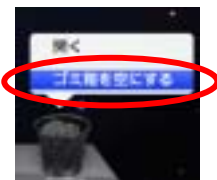
なお、 ボタンをクリックすると、以下のように書類フォルダの内容が Finder で表示されます。



3-3 ファイルの削除

ファイルをごみ箱にドラッグすると、削除する事が出来ます。

ごみ箱の上で Control キーを押しながらクリックするか右クリックすると、右図のようなメニューが表示されます。このメニューでごみ箱を空にすると、完全に削除することができます。



なお、ログアウトまたは再起動をしても、ごみ箱は空になりません。

4. 個人領域の使い方

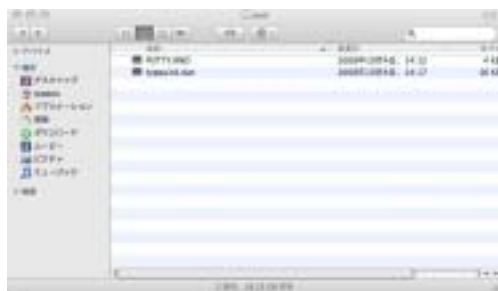
デスクトップにあるアイコンから、ネットワーク上にある各ユーザー領域を利用することができます。(ログインしたユーザーIDのユーザー領域が自動的に割り当てられます)

これは、Windows のコンピュータから利用する S ドライブと同じです。

デスクトップ上にある「LANの個人領域(S:)」のアイコン(上から1番目)をダブルクリックします。(下図)



下図のようなウインドウが表示されますので、ここにファイル等を置いて利用します。



Windows のコンピュータで日本語で表記されたファイル(フォルダ)名は、?で表示されます。不具合ではありません。

Windows のコンピュータで、ファイル(フォルダ)名を日本語で表記した場合、Mac のコンピュータで見ると、文字化けをした状態で表示されますのでご注意ください。(ファイルの不具合ではありません)また、同様に Mac のコンピュータで作成した日本語で表記したファイル名は、Windows のコンピュータで見ると文字化けして表示されますので、誤って削除しないようにご注意ください。

5. 教材領域の使い方

デスクトップ教材領域 (Mac 用) アイコンから、ネットワーク上にある教材を利用することができます。これは、Windows のコンピュータから利用する T ドライブとは異なりますのでご注意ください。

デスクトップ上にある「教材領域 (Mac 用)」をクリックします。



右図のウインドウが表示されますので、課題等の教材を利用するには、学科フォルダを開き、その中にある担当教員から指示されたフォルダから課題を取得します。



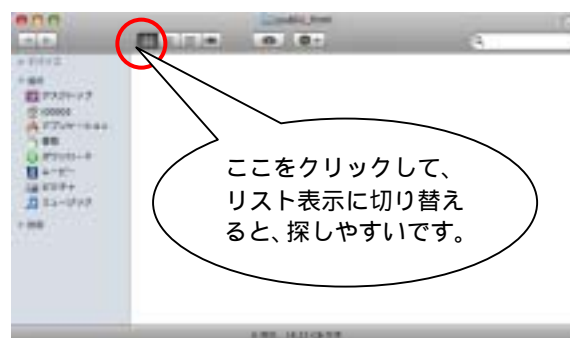
6. WWW 公開領域の使い方

デスクトップにある WWW 公開領域アイコンから、Windows のコンピュータから利用できる WWW 公開領域 (W ドライブ) を利用することができます。このフォルダにファイルを保存すると、インターネット上 (<http://www.ipc.hokusei.ac.jp/~ユーザID/>) へ すぐに公開されますので使用には充分ご注意ください。

デスクトップ上にある「WWW 公開領域 (W:)」をダブルクリックします。



下図のように Finder が表示されますので、保存等を行ってください。



7. ローカルディスクの利用

コンピュータに保存したファイルを探す時には、この iMac アイコンを使用します。デスクトップ上にある「この iMac」をダブルクリックして利用します。



この iMac アイコンをダブルクリックして起動すると、以下のように Finder が表示され、ローカルディスクの内容が確認できます。

ファイルを保存したフォルダを開いてご利用ください。

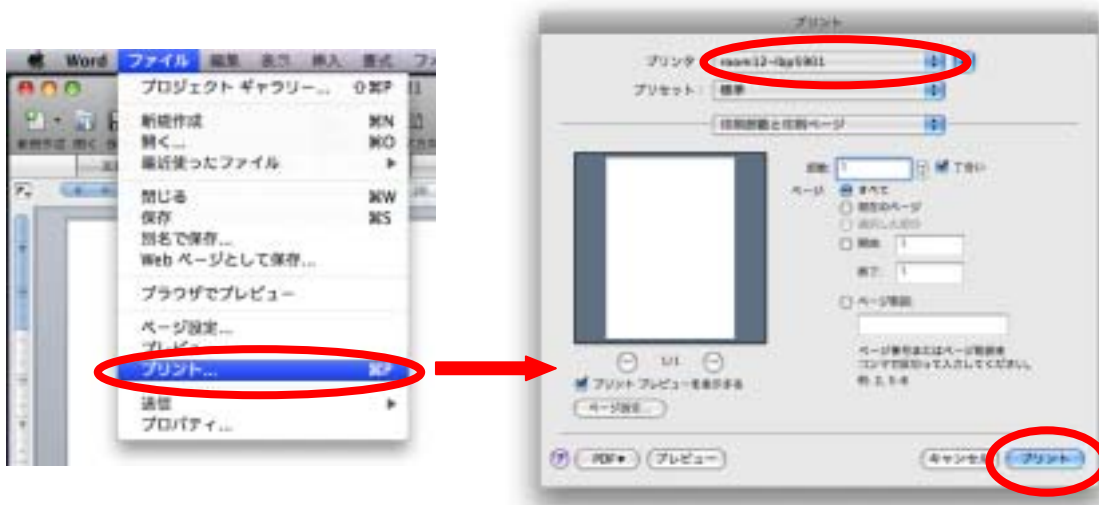


8. 印刷

「ファイル」メニューをクリックし、「ページ設定」を選択します。用紙サイズ等を設定して下さい。









同じメニューから「プリント」を選択します。



- * 第11 実習室では、第11 実習室・第12 実習室両方の教室のプリンタを使用できます。
 - * 第12 実習室は、第12 実習室のプリンタのみ使用できます。
- 自分が選択したプリンタを良く確認して下さい。
- 次回からのプリントは、最後に選んだプリンタが優先されます。

9. 周辺機器の使い方

9-1. ポートの説明(左側から)

- (1)  ヘッドフォン出力 /
光デジタルオーディオ出力ポート
ヘッドフォンはこちらをご利用ください
- (2)  オーディオ入力 /
光デジタルオーディオ入力ポート
- (3)  USB2.0 ポート
3 ポートあります。スキャナやキーボードを使用する際に使用します。
- (4)  FireWire400/800 ポート
デジタルビデオカメラや外付け HD 等に使用します。
- (6)  Ethernet ポート (10/100/1000Base-T)
イーサネットケーブルが接続されています。
ログイン出来ない時、ネットワークに接続出来ない時等は、
このケーブルが抜けていないか確認して下さい。
- (7)  Mini DVI ビデオ出力ポート
外部出力の際使用します。別途アダプタが必要です。



9-2. スキャナ

スキャナの電源を確認します。OFF になっている場合は ON にします。
USB ポートにスキャナのケーブルが接続されているか確認します。
スキャンする素材をスキャナにセットします。

Dock にある EPSONScan アイコン  をクリックして起動します。

以下のような画面が表示された後、しばらく待ちます。



¶ プレビューボタンをクリックします。右側にプレビューが表示されます。



プレビューの内容を確認し、よければ「スキャン」ボタンをクリックします。
解像度は、出力設定から選択できます。

注意： WireWorks からのスキャナ利用はできませんのでご注意ください

9-3. フロッピーディスク(以下 FD)

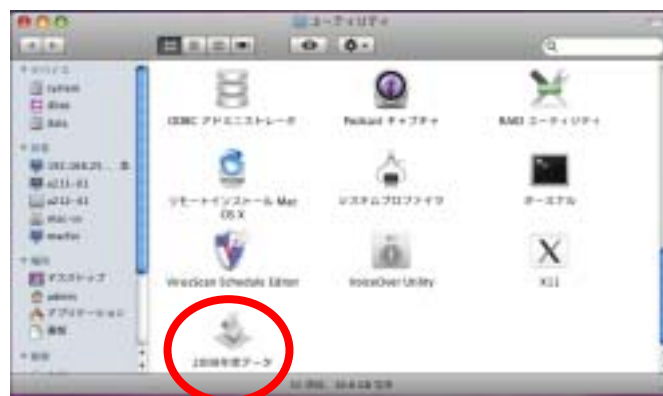
フロッピーディスクドライブが接続されていない場合は、iMac 背面の USB ポートへ接続してください。

フロッピーディスクをフロッピーディスクドライブにセットすると、画面右側に FD のアイコンが表示されます。ダブルクリックすると、FD の内容を Finder で確認できます。

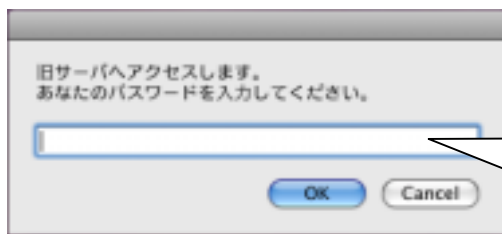
FD を取り出す場合は、FD のアイコンを「ゴミ箱」へドラックします。ゴミ箱の絵がイジェクトボタンの絵に変わりますので、ここでマウスを放すと、取り出し可能のメッセージが出ます。FD ドライブのイジェクトボタンを押して、FD を取り出して下さい。

10. 2008 年度までの Mac 個人ファイルを使用したい場合

1. 「移動」メニューから「ユーティリティ」を選択します。
2. ユーティリティにある「2008 年度データ」のスク립トを起動します。（ユーティリティ画面の 1 番下にあります）



3. 以下の画面が表示されますので、ログインしているユーザ ID のパスワードを入力します（ユーザ ID は、ログインユーザの ID が自動的に使用されますので入力の必要はありません。）



パソコンにログインするときのパスワードを入力してください。パスワードは、アスタリスクで表示されない(打ったままの文字が出てくる)ので、悪用されないよう気をつけてください。

- 4 . パスワードを入力すると、右のようなアイコンがデスクトップに作成されますので、ダブルクリックして開きます。



- 5 . 「2008年度のデータ」フォルダを開くと、以下のように Finder が表示されます。2008 年度にファイルを保存した場所のフォルダを開いて、S ドライブなどにコピーしてください。

